

なかじょうえきにしぐちしゅうへん

中条駅西口周辺地区

(新潟県胎内市)

- 計画期間 平成25年～平成30年
 - 面積 470ha
 - 交付対象事業費 2,781百万円
 - 市人口 28,781人

ポイント

東西自由通路等の整備から駅周辺のアクセスフリー化を推進し高齢者や全ての人が安心して暮らし続けられる持続可能なまちの構築を図る

目 標

中条駅周辺地域の一体的整備と市域道路や公共施設の整備により住む人が安心・快適に暮らせるやさしいまちの形成

地区概要

本地区は、JR・羽越本線中条駅を中心市をめぐるさまざまな社会環境の変化に対応した持続可能なまち『自然が生きる、人が輝く、交流のまち』を目指し、中条駅周辺地域の一体的整備と市域道路や公共施設の整備により総合的に新しいまちづくりを進め、住む人が安心・快適に暮らせるやさしいまちの形成を目指している。

指標

道路利用者の満足度

駅利用者の減少抑制

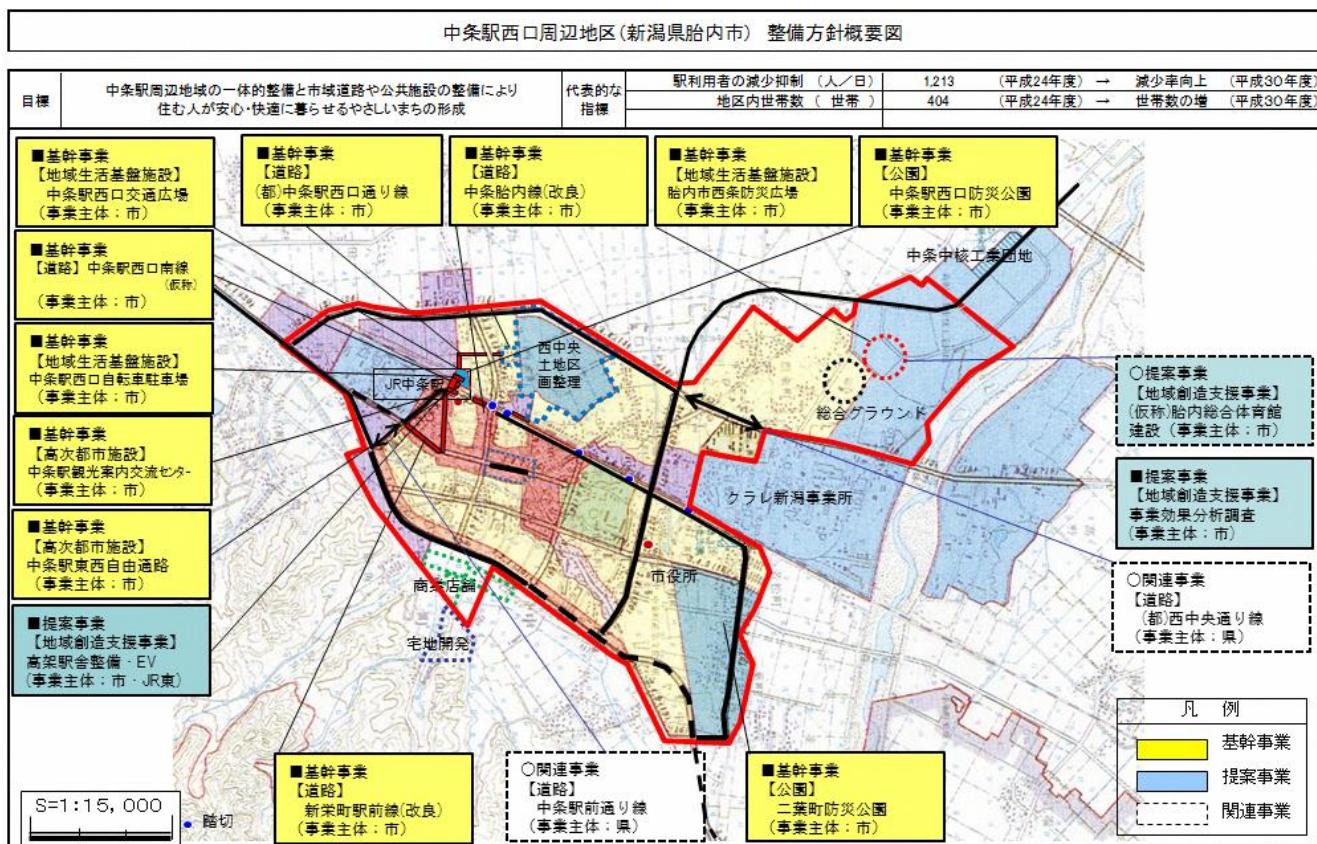
地区内居住人口

駅前広場の混雑度低下

道路利用者の満足度	28% (H24)	→	63% (H 30)
駅利用者の減少抑制	1,213 人/日 (H24)	→	1,189人/日 (H 30)
西口周辺土地利用率	8.3% (H24)	→	18. 4% (H 30)
地区内居住人口	404 世帯 (H24)	→	477世帯 (H 30)
駅前広場の混雑度低下	10台 (H24)	→	0台 (H 30)

事業內容

基幹事業（2,006百万円） → 道路（4路線 道路改良）東西自由通路建設 駅前広場建設 公園整備
提案事業（775百万円） → JR駅舎高架化 総合体育館建設 事業効果分析調査



— 地区の現況と課題 —

中条駅周辺の現況

中条駅の周辺地域は、胎内市の中心に位置付けられ用途を商業・工業・住居地域に指定されそれぞれの顔を持つ。表口の中条駅東口では、公共交通ネットワーク機能強化を図るため、環境変化に対応した全ての人に利便性の高い交通結節点となる駅前広場の整備を行い交通・環境・防災広場を確保し、前面街路と併せ周辺に駐輪場・P&R 駐車場を整備し新しいまちの顔として機能しています。



中条駅周辺の状況

中条駅周辺地区の課題

駅乗降口のない中条駅西側では低未利用地が存在し、市街地縁辺部や国道7号沿いでは、基盤整備が不十分で農地や商業地、住宅地が混在している。都計道は、約74.8%が改良済みとなっているが市街地内では未整備箇所が多く、優先順位を決め整備を進める必要がある中、JR羽越本線の線路を横断する道路のほとんどが平面交差であるため、渋滞が発生し東西の移動環境を容易にする整備が急務の課題となっている。

— 提案事業の特徴 —

JR 中条駅高架化事業

JR 中条駅舎を高架化することで鉄道を挟んだ東西の移動環境を整え、高齢者やさまざまな活動・交流を支援するため、交通結節点や周辺施設において駅利用者並びに歩行者に対し快適な移動空間を形成します。また、環境に優しい乗り物として自転車の交通空間を整備し自家用車からの転換を図り低炭素社会を目指す。

胎内市総合体育馆建設事業

災害に対応した市民生活に密着する公共施設整備により安心安全で快適なまちづくりの実現をめざす。

事業効果分析調査

事業完了後に事業の効果を改めて検証し、当初の目的を遂行するための方策を整備の成果を踏まえて新たに検討し、目標としたまちづくりの確実な推進をする。

— 計画策定プロセス —

市民アンケート

事前により多くの市民の意見や意向を調査し、多様なニーズに対応した交通結節点整備構想及び都市マスター・プランと整合のとれた駅周辺まちづくり将来像を設定するため、中条駅の現状に対する満足度や利用頻度、将来に向けた駅周辺整備への考え方等を把握することを目的に、市民へ調査票を全戸配付及び駅現場聞き取りにて調査を実施。

駅周辺まちづくり懇話会

中条駅の現状に対する満足度や利用頻度、将来に向けた駅周辺整備の考え方等を把握することを目的に駅周辺住民及び学生等を交えてワークショップを開催し意見を集約。

駅周辺整備基本構想策定検討委員会等

市民を中心とする基本構想策定検討委員会、まちづくり懇話会を設置し要望や意見を聞き取り、市長への政策答申機関とする駅周辺まちづくり審議会において、取りまとめられた意見を集約し、駅周辺整備基本構想及び駅周辺まちづくり基本計画を策定。



現在の中条駅と駅前広場



中条駅舎高架化状況



まちづくり懇話会



基本構想策定検討委員会